

会 議 録 (要旨)

会議名	田川市新中学校のあり方に関する審議会 第16回会議
開催日時	平成28年2月29日(月) 10時00分～12時00分
開催場所	田川市民会館 視聴覚室
出席者	(委員) 神谷委員、四戸委員、大宅委員、二場委員、児島委員、中山委員、 穂山委員、浦野委員、崎原委員 (事務局) 吉柳教育長、和田教育部長、小林学校教育課長、森本教育総務課長 永岡文化課長、樋口学校教育課長補佐、山本生涯学習課長 坂井文化課長補佐、大久保学校教育課主任

審議事項	審議内容
[審議資料 1] 最終答申(案)	<p>【事務局の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回に引き続き、答申の原案について審議していただきたい。 ・ 10ページ目の「再編時期と環境整備について」から朗読する。 <p>【委員の質問・意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 田川市の長期財政見通しが今月公表された。学校再編にかかる整備費用の見込みが59億2千7百万円で計上されている。市が将来の見通しに学校再編の整備事業費を計上しているという情報を、この場で共有しておきたい。 ② ある保護者から、開校時の2～3年生は、他校の生徒と途中から合流することになるので心配だという話を聞いた。保護者に安心を与えられるような配慮を求める内容を文面に盛り込めないか。 ③ 他市の例では、統廃合で吸収される予定となった学校の在校生や入学予定者が、正式な統合前に、吸収する側の学校に入学することを認めるという対応があった。開校時の2～3年生への対応や配慮を求める内容は書き入れたほうがよい。 ④ 経済的な心配をしている保護者もいる。開校時の2～3年生が制服や体操服を買い替える必要があるとなれば、家計の負担になる。 ⑤ 開校時の3年生は、新中学校で過ごす期間が1年だけとなる。受験を迎える時期で不安も大きいと思うので、特段の配慮を求める内容を書き入れたい。 ⑥ 円滑に統合を行えるように、小学校間、中学校間で生徒が事前交流を行う必要がある。交流に取り組むように明確に書いておく必要がある。 ⑦ 施設の充実を求める項目に、ランチルームの整備は入れられないか。 ⑧ ランチルームを設置している学校を見ると、生徒数の規模により、その仕様や利用方法が異なるようだ。どのような規模の施設を設置するにしても敷地がなければ設置できない。だから敷地面積が重要になる。敷地さえ十分確保できていれば、後から設置を検討することも可能だ。

審議事項	審議内容
<p>[審議資料 1] 最終答申（案）</p>	<p>⑨ 審議会が候補地としている田川中学校の校舎は耐震工事を施しているはずだが、校舎そのものが古い。改修による既存校舎の利用は可能なのか。</p> <p>⑩ 中学校給食は、再編問題には左右されずに実現されるものと信じている。しかし現段階では市の方針が明確に打ち出されていない。審議会が望む再編後の給食の実施方法なども含めて、答申書の中で給食実施を求める文言を入れるべきではないか。</p> <p>⑪ 再編と給食は本質的には別の問題である。ただし保護者の関心が高いので、4月の住民説明会までに、市が給食実施に関して何らかの方針を出していなければ、説明会場で批判が出るかもしれない。市が議会に方針を報告するタイミングを見ながら、答申で触れるかどうかを検討していきたい。</p> <p>⑫ 「開校時期」に関する記述において、2校同時開校を求めることは当然のことと考えるが、その根拠が平等性の観点というだけでは弱いのではないかと。審議会が2校同時開校を求める強い根拠を書き入れる必要がある。</p> <p>⑬ 審議会の再編案は後藤寺小校区と大浦小校区が異なる新中学校に進学する形になっている。後藤寺小校区と大浦小校区は、ともに後藤寺中に通っているため、開校時期がずれると片方だけが後藤寺中に残ることになり、問題になる。この案は2校同時開校が必須条件だと思う。</p> <p>⑭ 「教員に高い専門性を育む体制づくり」に関する記述は、色々な研修でスキルアップを目指してほしいという趣旨で書いているが、スキルアップは今もすでに各学校で取り組んでいる。再編すれば、スキルアップをより充実させる体制ができるので、より効果のある取り組みを求めるという文面にする必要がある。今の学校や教員がスキルアップに取り組んでいないという誤解を与えないように表現を工夫すべきである。</p> <p>⑮ 「キャリア教育の推進強化」に関する記述は、昨今の若者の職業観が問題の発端であるという書き出しになっているが、田川市の中学生が抱える課題を前提とした書き出しにしたほうがよい。</p> <p>⑯ 「取り組んでほしい教育活動」に関する記述は、4つの項目が挙がっているが、田川の歴史や文化を生かした教育を求める項目を追加してほしい。子どもたちに自分たちの町の良さに気付かせ、自分に自信が持てるような取り組みを求める内容を書き入れたい。</p> <p>⑰ 「これからの中学校教育に望むもの」に関する記述において、「子どもたちが、自分は価値ある存在であるという自信を持てるよう何事にも挑戦できる風土を求める」という文章は、表現を再考したほうがよい。挑戦こそが美しく、挑戦なしには自信が持てないという意味に誤解されかねない。</p> <p>⑱ ソフト面とハード面の整備がリンクした内容を書き込めば、説得力のある提言となるのではないかと。ソフト面で、外部指導者やボランティアスタッフの人材活用を求めているので、ハード面でスタッフルームの整備なども求めたほうがよい。</p> <p>【事務局の回答・意見】 ※番号は委員の意見・質問番号に対応</p> <p>④ 開校時に制服を買い替える必要があるかどうかについては、第1回目の住民説明会でも質問があった。一般的には、統合前の学校の制服の使用を認める場合が多いようである。本市の学校再編においても、その方法を採用することが望ましいと考えている。</p>

審議事項	審議内容
[審議資料 1] 最終答申（案）	<p>⑦ 審議会が想定している新中学校の全校生徒数は600人規模である。単学年でも200人規模となるので、対応できるランチルームとなれば相当な大きさの施設となる。現段階までランチルームの設置を検討したことはない。</p> <p>⑨ もちろん田川中の耐震補強は済んでいる。仮に改修して使用するとなれば最大限安全に配慮して整備する。</p> <p>⑮ 高校の中退率の高さが田川市の特徴的な課題のひとつに挙げられる。自分の進路希望と高校選択がマッチしていないことが主な理由である。</p>